

請 願 文 書 表

受 理 番 号	第 1 6 号
受 理 年 月 日	令 和 4 年 5 月 2 5 日
件 名	後 期 高 齢 者 の 医 療 費 窓 口 自 己 負 担 2 割 化 実 施 の 凍 結 を 求 め る 請 願
請 願 者 の 住 所 及 び 氏 名	桐 生 市 広 沢 町 3 - 3 9 4 9 全 日 本 年 金 者 組 合 桐 生 支 部 支 部 長 齊 藤 勝 三
請 願 の 要 旨	<p>【請願趣旨】</p> <p>先の国会で、75歳以上の医療費窓口負担について年収200万円以上(単身世帯の場合)の約370万人を1割から2割に引き上げることが決まった。国会の議論でも指摘されたように、高齢者の収入に占める医療負担の割合は、若者世代に比べて3倍から4倍程度も重くなっている。一方で、高齢者の暮らしを支える年金額が4月から0.4%削減され、生活不安が募っている。</p> <p>こうしたもとで医療費の負担を増やすことは受診抑制につながり、救える命が救えない事態になりかねない。また、重症化してから医療機関にかかるると医療費もかさむ。被保険者の健康に対する啓発活動を強め、検診率を上げることによって早期発見、早期治療こそが医療費を抑制する最善の方策である。</p> <p>ついては、以下の項目の実現を強く求め、地方自治法第99条の規定に基づき、政府関係機関に意見書を提出していただくよう請願するものである。</p> <p>【請願事項】</p> <p>75歳以上の医療費窓口負担2割化実施を凍結すること。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
紹 介 議 員	渡 辺 恒、関 口 直 久
付 託 委 員 会	教 育 民 生 委 員 会
審 査 結 果	